

設例の対比表と対応の方向性検討 (開示例を除く)

IASB ED (2009年5月)	IFRS 13 (2011年5月)	ASBJ ED (2010年7月)	対応の方向性検討
最も有効使用 設例 1 資産グループ	設例 1 資産グループ	設例 1 企業結合による取得したソフトウェア	
設例 2 土地	設例 2 土地	-	
設例 3 研究開発プロジェクト	設例 3 研究開発プロジェクト	設例 2 企業結合により取得した研究開発プロジェクト	
評価技法 設例 4 保有かつ使用される機械	設例 4 保有かつ使用される機械	設例 3 企業結合により取得した機械	
設例 5 ソフトウェア資産	設例 5 ソフトウェア資産	設例 4 企業結合により取得したソフトウェア	
主要な(最も有利な)市場 設例 6 レベル1と最も有利な市場	設例 6 レベル1と最も有利な市場	-	
当初認識 設例 7	設例 7	設例 5	

当初認識時の金利スワップ	当初認識時の金利スワップ	金利スワップ契約	
制限付資産			
設例 8 持分金融商品の販売の制限	設例 8 持分金融商品の販売の制限	-	
設例 9 資産の使用の制限	設例 9 資産の使用の制限	-	
負債の測定			
設例 1 0 仕組債	設例 1 0 仕組債	-	
-	設例 1 1 資産除却債務	-	
-	設例 1 2 債務 - 参照価格	-	
-	設例 1 3 債務 - 現在価値技法	-	
活発でない市場			
設例 1 1 活発でない市場	設例 1 4 資産に関する活動の量又はレベルが著しく減少した時の市場におけるリターンレートの見積り	設例 6 住宅ローン担保証券	